

科目名	在宅リハビリテーション学	担当教員	盛 雅彦 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	選択	2年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23ABC	②、④					

科目概要	在宅リハビリテーションにおける社会保障制度、リハビリテーション技術、家族介護者の健康支援等について学習する。活動や参加の視点を重視した生活期のリハビリテーションおよびマネジメントについて理解を深める。長く在宅生活を継続するための障害予防や健康増進の考え方も学ぶ。また、他の専門職との連携、協働についての理解を深める。
学習目標	① 障害者及び高齢者に関する保健福祉制度について理解する。 ② 介護保険法と介護予防制度の理解とその中での理学療法士の役割について理解する。 ③ 通所・訪問リハビリテーションの理解と理学療法士の役割について理解する。 ④ 在宅生活を支援する身体障害者手帳制度と補装具支給制度について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	成人保健制度、 老人福祉制度	介護保険制度開始前の高齢者保健福祉制度の変遷と寝たきり予防対策を解説する。	介護保険制度前の寝たきり予防対策について理解する。	
2	介護保険制度、 介護予防制度	介護保険制度の概要と介護予防施策の展開と理学療法士の役割を解説する。	介護保険制度全体を理解するとともに介護予防制度の中での理学療法士の役割を理解する。	
3	介護予防と ICF、 地域包括ケア	変遷する介護予防制度における地域包括支援センターと介護支援専門員の役割と地域包括ケア施策について解説する。	介護予防的な思考としての ICF の理解と地域包括ケアを推進する施策を理解する。	
4	在宅障害者・高齢 者の現状と通所 リハビリ	在宅の障害者や高齢者の現状と課題、これに対応する通所リハビリテーションの役割と課題を解説する。	閉じこもりや寝たきりになる要因を理解する。居宅療養を支援している通所リハビリテーション制度を理解する。	
5	在宅障害者・高齢 者の現状と訪問 リハビリ	在宅の障害者や高齢者の現状と課題、これに対応する訪問リハビリテーションの役割と課題を解説する。	在宅リハビリ継続の動機づけを理解する。居宅を支援している訪問リハビリテーション制度や住宅改修の考え方を理解する。	
6	障害者福祉制度	障害者基本法や三障害に関する法律、障害者総合支援法の概要を理解する。	身体障害者、知的障害者、精神障害者の保健福祉制度や障害者総合支援法の概要を理解する。	
7	障害者福祉制度 (身障手帳制度)	障害者福祉制度の概要と身体障害者手帳制度を解説する。	身体障害者手帳制度、特に肢体不自由について仕組みを理解する。	
8	障害者福祉制度 (補装具制度)	障害者福祉制度の概要と補装具支給に関連する各種制度を解説する。	障害者総合支援法における補装具費支給制度について理解するとともに、他法による支給制度についても理解する。	
評価方法		筆記試験 (100%)		
課題に対するフィードバック		1 次回講義でも解説し、フィードバックする。 2 授業を通してフィードバックする。 3 授業中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		特になし		
参考図書		札幌市地域リハビリテーション推進協議会・編「地域リハビリテーションハンドブック 2015」2015年 障害者福祉研究会・編「ICF 国際機能分類」中央法規出版、2002年 厚生労働省統計協会・編「国民の福祉と介護の動向」2023/2024年 (第70巻第10号)		
学習の準備		1 (予習) 事前に配付した資料について予習をしておくこと (90分) 2 (復習) 講義に使用した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと (90分)		

オフィスアワー	講義の前後
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	